平成２７年度　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	Ⅱ	文化の保存・継承
目標		文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用に努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	歴史や文化講座の参加者数	人	1, 047	1, 021	1, 237	1, 035	1, 287	1, 023	1, 086		1, 400
指標②	歴史文化施設（郷土資料館・埋蔵文化施設等）入館者数	人	3, 400	4, 562	5, 491	4, 926	4, 975	5, 108	5, 490		4, 500

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　歴史の伝承と活用	①　社会教育施設の充実と有効活用	・登別市に残された先史から現代に至るまでの歴史や文化を学ぶことのできる郷土資料館で展示や歴史学習の充実を図ります。 ・幌別鉱山の歴史をネイチャーセンターで伝えるなど、既存施設の有効利用と維持補修に努めます。 ・遺跡（埋蔵文化財）について学ぶことのできるのぼりべつ文化交流館で展示や学習の充実を図ります。
1-②	1　歴史の伝承と活用	②　埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催	・埋蔵文化財出土品を適切に保管、展示し、児童・生徒や市民が体験学習できる施設の整備を進めます。 ・市内の埋蔵文化財等について調査・研究を進めるとともに出前講座などの学習会等を開催して子どもたちや市民が登別市の歴史を学べる機会を拡充し、周知を図ります。 ・郷土史関係者との連携や、デジタル化等による資料の保存を図ります。
1-③	1　歴史の伝承と活用	③　地域文化や民俗芸能に触れる機会の支援	・地域文化を学ぶ機会を提供するとともに、地区の歴史を知る方との懇談会等を開催し地区の歴史を伝承します。 ・子どもたちが学校や地域で継続的に民俗芸能に触れる機会の取組を支援するとともに、民俗芸能を継承するための映像保存を進めます。
1-④	1　歴史の伝承と活用	④　温泉の歴史、文化を活用した事業	・観光協会や温泉資源の学術研究を行う大学などの研究機関との連携を図り、温泉の歴史や文化を活用した事業の展開を進めます。 ・情報通信技術などを積極的に利用して、国内外への情報発信に努めます。
2-①	2　アイヌ文化の振興	①　アイヌ文化に関する調査研究、記録の保存	・アイヌがこの地で培った自然観や食などの生活文化、また、アイヌ語地名や遺跡などを将来にわたって伝承するため、各種活動団体と協力し、調査研究、記録保存を進めます。
2-②	2　アイヌ文化の振興	②　伝統芸能、工芸に触れる機会の充実	・アイヌ文化の普及を図るため、市民が伝統的な芸能や工芸、口承文芸などを学ぶ機会を充実します。
2-③	2　アイヌ文化の振興	③　市民講座の開催、小、中学校への情報提供	・市民がアイヌの文化と歴史を総合的に学ぶことができる市民講座などを開催するとともに、小、中学校へ情報提供を行い、理解を深めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
1	1-①	郷土資料館運営管理経費【53211001】	教育委員会	社会教育G	S 56	－	ソフト	一般会計	郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。	H25	郷土資料館利用者	郷土の歴史、民俗、産業文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行った。 【収集資料】：寄贈10件(1, 078点)、寄託１件（６点） 【特別展】：４回 【イベント】：わんぱくサムライ体験	郷土資料館条例、郷土資料館条例施行規則	入館者数	人	3, 211	3, 643	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【収集資料】：寄贈11件(129点) 【特別展】：４回 【企画展】：３回 【イベント】：わんぱくサムライ体験 【その他】：常設展示室の一部展示替え	上記のとおり								
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中 【収集資料】：寄贈６件(７月31日現在) 【特別展】：２回 【企画展】：３回 【イベント】：わんぱくサムライ体験 【その他】：ＳＬＧ養成講座、敷地内樹木風倒防止、常設展示室の一部展示替え	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
2	1-①	文化伝承館運営管理経費【53211002】	教育委員会	社会教育G	H8	－	ソフト	一般会計	郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。	H25	文化伝承館利用者	文化伝承館を運営し、郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催した。 【体験事業】17回	登別市文化伝承館条例、登別市文化伝承館条例施行規則	体験事業参加者	人	234	242	250	250	250	250
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【体験事業】17回	上記のとおり								
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
3	1-②	文化財保護経費【53212001】	教育委員会	社会教育G	S 45	－	ソフト	一般会計	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にする心を養うことを目的とする。	H25	市民	市民に対する指定文化財等の周知、文化財の保護活動、活用等を実施した。 【実施事業】 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）11件 ・埋蔵文化財事前協議　１件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き　等	文化財保護法、登別市文化財保護条例・登別市文化財保護条例施行規則	登別市指定文化財数（年度ベース）	件	6	6	7	8	9	9
										H26	上記のとおり	上記のとおり ・歴史的つながりのマチとの交流の促進 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）・講演12件 ・埋蔵文化財事前協議　2件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き　等	上記のとおり								
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中（平成27年７月31日現在） ・歴史的つながりのマチとの交流の促進 ・市内の文化財の保護・管理 ・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）・講演　5件 ・埋蔵文化財事前協議　2件 ・史跡名勝天然記念物等の事務手続き　等	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【　単位　：　千円　】

NO	財源	名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	郷土資料館入館料	173	243	206	205	205	205
	一般財源		1,943	1,827	2,543	2,007	2,007	2,007
	合　計		2,116	2,070	2,749	2,212	2,212	2,212
2	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	文化伝承館体験学習等教材費負担金	58	54	66	64	64	64
	一般財源		203	211	239	231	231	231
	合　計		261	265	305	295	295	295
3	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	ふるさとまちづくり基金積立金繰入金		30				
	一般財源		150	355	350	407	407	407
	合　計		150	385	350	407	407	407

Check ・ Action

NO	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
1	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	登別市の貴重な歴史資料を収集・保存・展示する施設であり、貴重な資料を後世に残すため、多くの経費や労力が必要であるが、市民にとっては郷土の歴史を知ることのできる場であり、市外の方には所蔵資料を通じて登別市の歴史や魅力に触れることのできる場であることから、今後も継続的に事業を実施していくことが相当である。 しかし、常設展示が長く固定化していることから、部分的ではあるが展示替えを行っていく必要がある。	郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を愛する心を育てるため、今後も継続して郷土に関する資料の収集、保管、展示を行う郷土資料館の運営管理を行うとともに、魅力ある博物館作りのため常設展示の一部入れ替えや特別展の開催等を行っていく。
	H26	宮城県白石市からの借用資料をはじめ北海道内外の資料を用いた特別展を実施したほか、本市に縁の深いアイヌ語地名学者の特別展を北海道と共催で実施するなどして、郷土の歴史の普及啓発に努めた。			
	H27	常設展示の一部入替えを行い、新たな資料の公開とともに、見やすい展示に努める。			
2	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	布ぞうり作り、べこもち・らくがん作りなどの体験を通し、市民が郷土の歴史や文化に触れる機会を提供していることから、今後も継続的に事業を実施していくことが相当である。 体験事業の内容については、郷土資料館ボランティアグループＳＬＧとともに内容を検討し、実施していく。	今後も、郷土資料館ボランティアグループＳＬＧとともに体験学習の内容の充実を図り、市民の教育・文化の向上を図っていく。
	H26	体験事業の内容を、実施する郷土資料館ボランティアグループＳＬＧと検討し、１件新たな体験事業に改め実施した。			
	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
3	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	地域に根ざす心豊かな生活を送るために、ふるさと登別に関係する文化財・歴史の保護・活用を図ることは、将来の登別の基礎となる大切なことであるため、今後も継続的に事業を実施していくことは妥当であるが、その手法については費用対効果などを踏まえながら見直しを検討する必要がある。	白石市との往来の必要性、参加人数等について、費用対効果を踏まえながら見直しを検討する。
	H26	学芸員2人を宮城県白石市に派遣して歴史交流講演会を実施したほか、資料借用、資料調査を実施し、交流を深めることができた。また、札幌白石区とのつながりを構築するなど歴史的つながりのあるマチとの交流の促進に努めた。			
	H27	宮城県白石市から職員2人が登別市に派遣され、講演会を実施するとともに、資料調査や資料貸出を実施する。			

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																		Check			Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案				
4	1-②	のぼりべつ文化交流館運営管理経費 53212003	教育委員会	社会教育G	H19	―	ソフト	一般会計	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する目的理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動の向上を図ることを目的とする。	H25	文化交流館利用者、体験学習参加者	市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、貸館利用として市民の作品展示などを行った。 【体験学習】７回 【ガイド対応】団体７件、市内小学校５件、市外小学校１件 【イベント】縄文どきどきまつり	のぼりべつ文化交流館条例、のぼりべつ文化交流館条例施行規則	のぼりべつ文化交流館利用者数	人	4,538	2,905	3,200	3,200	3,200	3,200	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	登別市の貴重な歴史資料を収集・保存・展示する施設であり、貴重な資料を後世に残すため、多くの経費や労力が必要であるが、市民にとっては郷土の歴史を知ることのできる場であり、市外の方には所蔵資料を通じて登別市の歴史や魅力に触れる場であることから、今後も継続して事業を実施することが相当である。 そのためにも、展示や体験学習の入れ替えなどを実施し、魅力ある博物館づくりに努めていく必要がある。	今後も魅力ある博物館づくりのため常設展示の一部展示替え等を行い、歴史・文化財を通じた文化振興を図っていく。
																					道支出金															
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【体験学習】６回 【ガイド対応】団体６件、市内小学校５件、市外小学校３件 【イベント】縄文どきどきまつり	上記のとおり								地方債								H26	体験学習については、日程により参加者数の変動が見られるが、新たな企画を実施し、参加者の増加に努めた。			
														のぼりべつ文化交流館体験学習参加人数	人	131	195	150	150	150	150	その他	のぼりべつ文化交流館使用料・のぼりべつ文化交流館体験学習等教材費	308	241	286	274	274	274				
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり								一般財源		2,586	2,575	2,864	2,994	2,994	2,994	H27	利用者の増加と本市の歴史の魅力に触れてもらうため、新たな体験学習を企画、実施する。			
																					合 計		2,894	2,816	3,150	3,268	3,268	3,268				
5	2-②	アイヌ文化講座経費 53222001	保健福祉部	社会福祉G	H9	―	ソフト	一般会計	市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めてもらうことを目的とする。	H25	アイヌ協会登別支部	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催した。 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：かご編み ・回数：10回		講習会への延参加人数（10回）	人	108	134	200	200	200	200	国庫支出金								H25以前	アイヌ文化講座の内容について、毎年内容の検討を行い、事業実施しておりますが、事業の方向性に変更はありません。	維持	アイヌ文化講座を実施することにより、アイヌの伝統作品の種類や、どのような材料を使用しているかを市民に周知することができた。	今後もアイヌ文化の普及のため、継続して補助を行っていく。
																					道支出金															
										H26	登別アイヌ協会	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催した。 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：アイヌ文様刺繍 ・実施回数：10回									地方債								H26	上記のとおり			
																					その他															
										H27	上記のとおり	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催予定 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：アイヌ刺繍 ・実施回数：10回		―	―	―	―	―	―	―	一般財源		280	280	280	280	280	280	H27	上記のとおり			
																					合 計		280	280	280	280	280	280				
6	2-②	アイヌ民族文化祭補助金 53222002	保健福祉部	社会福祉G	S63	―	ソフト	一般会計	アイヌ民族の尊厳の確立、文化の保存・伝承することを目的とする。	H25	社団法人北海道アイヌ協会	社団法人北海道アイヌ協会が主催しているアイヌ民族に関連する事業推進のため補助金を交付し支援した。 【主な事業】 アイヌ古式舞踊、民族衣装の展示紹介、ムックリ演奏体験等		参加者延人数	人	160	300	700	700	700	700	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	補助金を支出することにより、アイヌ民族文化祭を円滑に開催することができ、アイヌ文化の振興、アイヌ民族の周知につながる。	今後もアイヌ文化の普及のため、継続して補助を行っていく。
																					道支出金															
										H26	公益社団法人北海道アイヌ協会	公益社団法人北海道アイヌ協会が主催しているアイヌ民族に関連する事業推進のため補助金を交付し支援した。 【主な事業】 アイヌ文化講演、アイヌ古式舞踊指導、ムックリ演奏、アイヌ工芸作品の展示紹介等									地方債								H26	上記のとおり			
																					その他															
										H27	上記のとおり	公益社団法人北海道アイヌ協会が主催しているアイヌ民族に関連する事業推進のため補助金を交付し支援する。		―	―	―	―	―	―	―	一般財源		30	30	30	30	30	30	H27	上記のとおり			
																					合 計		30	30	30	30	30	30				
7	2-③	アイヌ文化普及啓発事業補助金	保健福祉部	社会福祉G	S58	―	ソフト	一般会計	アイヌ民族の社会的地位向上、文化の保存・伝承することを目的とする。	H25	北海道アイヌ協会登別支部	アイヌ文化の普及・啓発のため、北海道アイヌ協会登別支部が実施する事業の一部に補助金を交付し、支援した。 【主な事業】 アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の開催や文化実践講座の実施等		アイヌ民族祭、古式舞踊参加者延人数	人	691	379	1,600	1,600	1,600	1,600	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市が補助することで、登別アイヌ協会の各種行事の情報伝達や、事業実施を円滑に行うことができるため、アイヌ文化の保存・伝承、アイヌ民族の社会的地位向上に寄与することができる。	アイヌ文化の保存・伝承のため、今後も継続して補助を行っていく。
																					道支出金															
										H26	登別アイヌ協会	アイヌ文化の普及・啓発のため、登別アイヌ協会が実施する事業の一部に補助金を交付し、支援した。 【主な事業】 アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の開催や文化実践講座の実施等									地方債								H26	上記のとおり			
																					その他															
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中		―	―	―	―	―	―	―	一般財源		200	200	200	200	200	200	H27	上記のとおり			
																					合 計		200	200	200	200	200	200				